

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 文京学院大学 実施報告書



実施主体 地域連携センターBICSの学生有志（約20人）

実施内容 平成25年10月19日～平成25年10月20日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待、オレンジリボン運動についての学習会を実施し、オレンジリボン運動実施学生の知識を深め、運動に対する意欲の向上につなげた。
- ・実施当日に向け、リボンや材料の買い出しを行い、リボン1,000個を作成し、3,500枚のチラシを大学祭プログラムに閉じこんで準備をした。
- ・当日に掲示するオレンジリボン運動資料等児童虐待防止のポスターを制作した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・学園祭来校者の方々にオレンジリボン運動の呼び掛け、オレンジリボンの配布、児童虐待の現状の説明を行った。具体的には、オレンジリボン運動実施学生以外の在學生や卒業生、児童の親世代の人だけでなく、幅広い世代の来校者に対し、児童虐待についての理解を深めてもらうと同時に、地域でも市民の力でオレンジリボン運動に取り組んでほしいという願いを含めて、運動実施学生は語りかけるようにしていった。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・延べ2日間で、大学祭に来場された幅広い世代にオレンジリボン運動を広めることができたと思う。育児の経験のない人、育児中の人、育児を終えた人にも、児童虐待の現状や課題、見守りの重要性を伝えることができ、関心を高めることができたと思う。
- ・児童虐待の言葉に対して拒否する方もいることがわかったので、しおりを渡した時に困った場合は支援する場所があること、地域で見守っていくことの重要性を話し、呼びかけの方法を工夫した。また、児童の来場者も多かったため、あめを用意して親子にも興味を持ってもらえるようにした。学生たちも来場者への語りかけ、やりとりをしながら、オレンジリボン運動を通して、改めて児童虐待防止について、考えを深めていっている様子がうかがえる機会となった。

